

# 足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略

---

## 平成27（2015）～令和3（2021）年度 実施状況

令和4（2022）年8月

足利市 総合政策部 総合政策課

## 目 次

達成状況における検証	.....	P. 2
基本目標ごとの達成状況	.....	P. 3
成果指標・KPI 達成状況一覧表	.....	P. 4
<b>基本目標 1</b> 足利にしごとを増やし、安定して働ける場をつくる	.....	P. 4
<b>基本目標 2</b> まちの魅力を高め足利へのひとの流れをつくる	.....	P. 6
<b>基本目標 3</b> 結婚・出産・子育ての希望を足利でかなえる	.....	P. 8
<b>基本目標 4</b> 市民が元気で安心して暮らせる足利をつくる	.....	P. 10
地方創生推進交付金活用事業 令和3(2021)年度 実施状況	.....	P. 13

### 達成状況における検証

第1期足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、国が制定する「まち・ひと・しごと創生法」の趣旨に則り、人口減少対策として平成27(2015)年度に策定した令和3(2021)年度までの7か年計画です。本戦略では、設定した4つの目標達成のため、43項目の指標を掲げて各種事業に取り組んできました。

計画期間が終了した令和3(2021)年度時点の各指標の目標値に対する達成状況は、43項目中11項目にとどまり、基準値を下回った項目に至っては15項目にのぼり、高い評価は得られない結果となりました。

ただし、7か年の期間通年の検証結果は、一時的にでも目標値に達した項目が15項目、基準値より向上した項目は15項目で、約7割の項目で一定の事業実施効果に結びつくものとなりました。

令和2(2020)年度及び令和3(2021)年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響が実績値に顕著に表れた項目も多く、コロナ禍が原因として達成状況に大きく関係している事実は明らかですが、今後は、ウィズコロナ・アフターコロナ時代に合わせた各事業の実施方法の検討を行い、成果につなげる仕組みづくりが必要です。

項目別に検証すると、特に、雇用対策の推進や結婚・出産に関する各項目について低迷している状況が際立っており、次期の重要な課題として捉えるべき結果となっています。第2期の同総合戦略においては「結婚・出産へのサポート体制の充実」、「新たな産業団地の開発と企業誘致の推進」に資する施策を優先的に掲げ、各種事業に取り組むこととします。

今回の第1期総合戦略の検証を踏まえて策定する第2期総合戦略では、新たな目標に向かって市民ニーズを反映した効果的な事業を着実に推進していくことが求められます。市民に分かりやすい指標設定のもと、毎年度検証を行いながら、PDCAサイクルを運用して改善と刷新を繰り返し、人口対策につながる本市の魅力が十分に発揮されるまちづくりを目指します。

## 基本目標ごとの達成状況



= R03 (2021) 年度時点で、目標値 [R3 (2021)] を達成した



= R03年度時点で、基準値 [H26 (2014)] より向上した(維持を含む)が、目標値 [R3 (2021)] を下回った



= R03 (2021) 年度時点で、基準値 [H26 (2014)] を下回った



= 期間中一時、目標値 [R3 (2021)] を達成したが、R03 (2021) 年度時点で目標値を下回った



= 期間中一時、目標値 [R3 (2021)] に到達したが、R03 (2021) 年度時点で基準値 [H26 (2014)] を下回った

項 目	指標数											直近実績値なし	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
基本目標 1 足利にしごとを増やし、 安定して働ける場をつくる	8	2	25.0%	3	37.5%	2	25.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%
基本目標 2 まちの魅力を高め 足利へのひとの流れをつくる	8	2	25.0%	2	25.0%	4	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望を 足利でかなえる	13	4	30.8%	5	38.5%	4	30.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
基本目標 4 市民が元気で安心して 暮らせる足利をつくる	14	3	21.4%	6	42.9%	5	35.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合 計	43	11	25.6%	16	37.2%	15	34.9%	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%

# 足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略 成果指標・KPI 達成状況一覧表

※KPIとは、Key Performance Indicator（重要業績指標）の略称であり、施策ごとの進捗状況を検証するための指標のことであります。

基本目標		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	達成状況	実績に対する評価と今後の方針		
戦略		H26(2014)基準値	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)				
成果指標・KPI													
<b>基本目標 1 足利にしごとを増やし、安定して働ける場をつくる</b>													
成果	製造品出荷額等★	億円	目標	/	3,538	3,574	3,609	3,645	3,680	3,715	3,750		新型コロナウイルス感染症や燃料、原材料の価格高騰など社会経済情勢が企業に与える影響は大きい。設備投資に対する支援をはじめ市内企業の成長支援を行い、製造品出荷額の維持、増加に努める。
			(H26速報値)	実績値	3,503	—	3,706	3,886	3,989	3,876	—		
成果	農産物年間販売額★	億円	目標	/	28.4	28.8	29.2	29.6	30.0	30.5	31.0		生産者の高齢化等に伴い、生産面積や生産者数は年々減少傾向にある。高収量・高品質を図るための生産技術の確立と農業の魅力を発信する等次世代の担い手を確保・育成する。
			実績値	28.0	29.1	27.5	26.5	30.5	27.3	28.5	29.2		
<b>1-1 企業誘致の推進</b>													
KPI	企業立地累計件数★	件	目標	/	6	12	18	24	30	33	36		産業団地に空きが無い状況となっている。引き続き、産業団地の造成を進めるとともに、関係機関と連携し、民間未利用地等へ企業立地を誘導していく。
			実績値	—	2	5	9	20	24	26	30		
<b>1-2 創業支援、稼ぐ力・技術力ある産業の育成、雇用対策の推進</b>													
KPI	創業支援事業計画における年間創業者数★	人	目標	/	66	67	68	69	70	70	70		創業希望者は一定数いるものの、様々な要因により創業まで至らないケースが多かった。今後も関係機関と連携し、希望者が創業できるよう努めたい。また、各種支援策の充実を図る。
			実績値	65	34	32	29	22	31	22	28		
KPI	地元購買率★	%	目標	/	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	85.0	85.0	—	5年に1度、県の調査が予定されていたが、県の見直しにより実施されなかった。今後も商業団体等への支援を通じ、地元購買率が高まるよう努める。
			実績値	79.9	—	—	—	—	—	—	—		
KPI	新規高卒就職者の市内就職率★	%	目標	/	33.7	34.8	35.8	36.9	38.0	39.0	40.0		令和元(2019)年度に市内就職率が増加したものの、以降はコロナ禍の影響を受け減少した。今後も関係機関と連携し、就労支援を進め、新規高卒就職者の市内就職率を高められるよう努める。
			実績値	32.6	33.3	32.3	25.9	30.0	36.5	27.0	27.9		

基本目標				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	達成状況	実績に対する評価と 今後の方針
戦略				H26(2014) 基準値	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)		
成果指標・KPI													
<b>1-3 強い農業の育成</b>													
KPI	主要園芸品目の 年間販売額★	億円	目標	/	16.6	16.9	17.3	17.6	18.0	18.6	19.0		新品種の選定、高収量・高品質を図るための 生産技術の確立と次世代の担い手育成を進 め、生産力の向上を図り、年間販売額の増加 につなげる。
			実績値	16.2	19.2	18.4	17.0	16.6	17.3	15.3	16.6		
KPI	累計新規就農者数	人	目標	/	6	12	18	40	50	56	62		農業に興味を持つ人が年々増加しつつあり、 農業の魅力発信等の取組に加え、関係機関で 連携して相談に対応することで、目標値を上回 る実績となった。今後も新たな担い手を呼び込 む取組を継続して、新規就農者の確保に努め る。
			実績値	—	4	12	29	41	52	68	84		

基本目標		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	達成状況	実績に対する評価と 今後の方針	
戦略	成果指標・KPI	H26(2014) 基準値	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)			
<b>基本目標2 まちの魅力を高め足利へのひとの流れをつくる</b>												
成果	観光客入込数★	万人	目標	361	367	374	471	500	500	500		コロナ禍における大規模イベントの中止、外出自粛及び休業要請等の影響により後半3年間は、減少傾向となった。今後は、足利ならではの観光資源をさらに磨き上げ、観光客の満足度向上につなげるとともに、リピーターの定着を図り、観光客の増加につなげる。
			実績値	355	394	411	475	508	486	300		
成果	年間転入者数	人	目標	4,450	4,537	4,625	4,712	4,800	4,800	4,800		コロナ禍の影響でシティプロモーションの機会が減少し、令和3(2021)年度は大きく目標値を下回った。今後は本市ならではのライフスタイルを発信や若者のUIターン促進等を通じて移住者の増加につなげる。
			実績値	4,362	4,302	4,305	4,764	4,506	4,636	4,209		
<b>2-1 「歴史・文化」などのまちの魅力向上と郷土愛の醸成</b>												
KPI	観光アシスタント登録者数★	人	目標	40	50	60	100	120	120	120		観光アシスタントの活動に市民が触れることで、「観光のまちづくり」に対する市民の意識醸成につながった。市民の協力がしやすい環境を整え、ガイドの活動の幅を広げることににより、市民が直接的に関わる「観光のまちづくり」につなげる。
			実績値	—	11	126	137	138	138	132		
KPI	【市民アンケート】本市に愛着を持つ市民の割合★	ポイント	目標	—	—	83.2	84.2	85.2	86.2	前年比+1 ポイント		これまでの実績はおおよそ8割を超える水準で推移しており、本市に対する愛着の高さが伺える。今後についても、本市に対するシビックプライド醸成を意識した事業を展開する。
			実績値	—	—	82.2	83.0	82.5	80.5	83.6		
<b>2-2 まちの魅力を積極的に活用した観光・交流の推進</b>												
KPI	外国人年間延べ宿泊者数	人	目標	3,060	3,120	3,180	3,240	3,300	3,300	3,300		新型コロナウイルス感染症対策に係る外出自粛要請及び海外との渡航往來の影響により令和2(2020)年度以降は激減した。インバウンド需要回復に向けて、足利市の観光資源の存在を海外に周知するプロモーション活動の実施により外国人宿泊者数の増加につなげる。
			実績値	3,000	2,703	3,116	2,935	6,614	4,234	982		
KPI	観光客年間宿泊者数★	人	目標	28,000	30,000	32,000	34,000	36,000	38,000	40,000		宿泊者数がコロナ禍における施設の休業及び外出自粛の影響を受ける結果となった。夜景観光開発事業による市内滞留時間の増加や旅行会社へのプロモーションによる旅行商品造成を通じ、宿泊者数増加につなげる。
			実績値	26,000	28,167	29,703	33,170	31,629	32,271	38,812		

基本目標				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	達成状況	実績に対する評価と 今後の方針
戦略		H26(2014) 基準値		H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)		
成果指標・KPI													
<b>2-3 移住・UIJターンの促進</b>													
KPI	移住相談会等 累計参加者数★	人	目標	/	—	20	40	120	160	200	240		移住定住相談センターの開設により相談者数を増やすことができた。今後は利便性向上のため、東武足利市駅内に移転し、さらなる相談者数の増加につなげる。また、県との連携による各種セミナー等へ積極的に参加し移住希望者との面会を重ねていく。
			実績値	—	—	48	84	177	207	237	271		
KPI	移住体験ツアー 累計参加者数	人	目標	/	—	20	40	70	100	100	100		実際に足利市へ来て、本市で暮らす人たちと面会することで、暮らしのイメージが伝わったという声が大きく、移住・定住の促進に一定の効果があった。今後もコロナ禍の状況を見つつ開催する。
			実績値	—	—	20	39	61	61	61	85		

基本目標		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	達成状況	実績に対する評価と今後の方針	
戦略		H26(2014)基準値	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)			
成果指標・KPI												
<b>基本目標3 結婚・出産・子育ての希望を足利でかなえる</b>												
成果	乳幼児健診時の保護者への調査「この地域で子育てをしたいと思う親の割合」	%	目標	—	—	—	—	—	—	95.0		目標値に近い値で推移しており、今後も妊娠期から子育て期に至るまでの支援策の充実と周知を行い、子育てをしやすい環境づくりを進める。
			実績値	—	94.9	93.2	93.3	92.3	94.1	94.5		
成果	合計特殊出生率	人	目標	1.51	1.52	1.54	1.56	1.58	1.58	1.58		コロナ禍もあり令和2(2020)年度には合計特殊出生率が大きく減少した。令和3(2021)年度には多少回復したものの、目標値を下回っている状態である。今後は、結婚・出産へのサポート体制や子育て支援を充実させる。
			実績値	1.49	1.35	1.47	1.38	1.28	1.39	1.15		
<b>3-1 結婚の希望をかなえる支援の充実</b>												
KPI	年間婚姻件数★	組	目標	697	710	724	737	750	750	750		県と連携した結婚支援センターを令和2(2020)年度より開所したものの、コロナ禍で予約枠を減らしての対応となった。オンライン化をはじめセンターの支援体制を充実するなどし、出会いの機会の提供に努める。
			実績値	684	636	625	562	551	582	473		
KPI	あしかが婚活応援事業参加者数	人	目標	78	108	139	280	350	350	350		コロナ禍により、民間主催のイベントが実施されず、実績が無しとなった。今後は、感染状況を注視してイベントへの参加を促す。
			実績値	47	278	295	330	425	334	0		
<b>3-2 子どもを産み育てやすいまちづくりの推進</b>												
KPI	不妊・不育症治療費助成件数	件	目標	104	109	115	120	125	125	125		コロナ禍の影響で一時期、助成件数が減少したが令和3(2021)年度は大幅に増加し目標を達成した。令和4(2022)年度から不妊治療が保険適用となったことを踏まえ、助成内容等について検討を進める。
			実績値	99	127	117	95	113	83	94		
KPI	妊婦の相談支援件数	件	目標	162	227	291	356	420	420	420		令和3(2021)年度、産科医療機関に対し、支援を必要とする要支援妊婦が増加しているため、保健師等の相談支援ができる保健センターでの届出の勧奨をしたことで妊娠届出時における相談支援件数が増加した。今後も妊婦の相談しやすい体制を継続していく。
			実績値	98	154	395	333	393	374	379		

基本目標				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	達成状況	実績に対する評価と 今後の方針
戦略				H26(2014) 基準値	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)		
成果指標・KPI													
KPI	放課後児童 クラブ数★	か所	目標	/	45	48	50	53	55	57	57		コロナ禍の状況から、リモートワークや勤務時間の短縮等により自宅で児童を見られる方の割合が増えたことも影響し、利用を希望する人数が増加せず、クラブの増設を必要としなかった。今後は地域ごとの利用希望児童数を見ながら必要な地区に開設できるよう状況を確認しながら進める。
			実績値	42	45	48	50	53	53	53	53		
KPI	【市民アンケート】子どもを産み育てる取組の満足度(5段階評価)★	ポイント	目標	/	3.29	3.34	3.40	3.45	3.50	3.50	3.50		子育て世代包括支援センター事業や保健師・保育士等の専門職による相談など切れ目ない支援を実施した。今後は保健師等をコーディネーターとした支援や子ども医療費助成の窓口無償化の対象年齢の拡大など更なる充実を図る。
			実績値	3.24	3.35	3.12	3.25	3.36	3.38	3.40	3.41		
KPI	【市民アンケート】仕事と子育ての両立支援の満足度(5段階評価)★	ポイント	目標	/	3.27	3.33	3.38	3.44	3.50	3.50	3.50		徐々に企業(事業者)に「仕事と子育ての両立」についての意識が根付いてきている。今後も企業(事業者)に対する啓発に努め、両立支援の環境整備を推奨していく。
			実績値	3.21	3.25	3.16	3.30	3.38	3.35	3.37	3.41		
<b>3-3 豊かな心と主体性をはぐくむ教育の推進</b>													
KPI	学校の授業以外で1日に30分以上読書をする児童・生徒の割合(小学校6年生)★	%	目標	/	36.7	37.3	37.8	38.4	39.0	39.5	40.0		学校図書館指導員の巡回訪問により、子供が自ら本を手にする意欲を高めることができるよう、新刊図書の整備や、配架の工夫、読み聞かせなどの活動を行ってきた。また、今後、タブレット端末に登録した市立図書館ホームページのブックマークの活用を授業で紹介するなど、学校図書館と市立図書館の連携を推進していくことで、自ら本を読む子どもを育てていく。
			実績値	36.1	36.8	34.4	33.7	37.8	39.1	—	37.2		
KPI	学校の授業以外で1日に30分以上読書をする児童・生徒の割合(中学校3年生)★	%	目標	/	33.1	33.6	34.0	34.5	35.0	35.5	36.0		
			実績値	32.6	28.8	26.2	27.3	29.7	27.7	—	27.3		
KPI	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童・生徒の割合(小学校6年生)★	%	目標	/	38.2	39.1	40.1	41.0	42.0	42.5	43.0		コロナ禍により、地域等での活動が制限され、具体的な活動場面が減少する中ではあったが、地域の一員として自分や社会について考える機会が増えたため、実績値が上がったと考えられる。今後も、地域で活動する機会を大切にしながら、地域の一員であるとの自覚を持ち、社会について主体的に考える児童生徒の育成に努める。
			実績値	37.2	37.5	—	37.9	45.3	54.2	—	52.9		
KPI	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童・生徒の割合(中学校3年生)★	%	目標	/	29.6	30.4	31.3	32.1	33.0	33.5	34.0		
			実績値	28.7	31.8	—	31.2	34.5	39.8	—	44.8		

基本目標		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	達成状況	実績に対する評価と 今後の方針	
戦略		H26(2014) 基準値	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)			
成果指標・KPI												
<b>基本目標4 市民が元気で安心して暮らせる足利をつくる</b>												
成果	健康寿命 (男性)★	歳	目標 実績値	— 77.15	— 77.52	—	—	— 78.62	—	—	延伸 78.24	 女性は延伸したが、男性の健康寿命は伸び悩んだ。今後も「高血圧ゼロのまちづくり」を推進し、健康寿命の延伸を図る。
成果	健康寿命 (女性)★	歳	目標 実績値	— 82.30	— 82.42	—	—	— 83.15	—	—	延伸 83.47	
成果	【市民アンケート】 幸福感の現状 (10段階評価)	ポイント	目標 実績値	— 6.82	6.96 6.90	7.09 6.92	7.23 6.89	7.36 6.97	7.50 6.89	7.50 6.93	7.50 6.90	 実績値は横ばいであり、災害やコロナ禍をはじめ様々な要因が考えられる。多様化する諸課題に対処し、誰もが安心して、いきいきと暮らし、幸せを実感できるまちづくりを進める。
成果	【市民アンケート】 市民と行政との 協働の取組満足度	%	目標 実績値	— 27.7	29.2 25.4	30.6 17.2	32.1 19.1	33.5 25.0	35.0 24.0	35.0 29.8	35.0 27.4	 市民と行政との協働事業数は目標値を上回っているが、満足度は低い状態にあることから取組事例等を分かりやすく周知し、理解を促進する。
成果	【市民アンケート】 生活習慣病や 介護の予防の 取組満足度	%	目標 実績値	— 40.9	41.7 41.3	42.5 28.1	43.4 34.3	44.2 36.6	45.0 36.8	45.0 34.1	45.0 33.5	 生活習慣病予防の健康教育や周知啓発、介護予防の講座等を実施したが、目標値には及ばなかった。今後も周知の徹底や改善指導の充実、医療機関等との連携、生きがいの推進などに努める。
<b>4-1 「健幸」なまちづくりの推進</b>												
KPI	健幸マイレージの 参加者数★	人	目標 実績値	— —	— —	4,000 1,273	7,000 2,046	9,000 2,033	11,000 2,162	13,000 4,929	15,000 5,319	 令和2(2020)年度からスマホ版健康マイレージの導入により参加者が急増した。今後も、自然と健康に導かれる仕掛けづくりをおし、運動の習慣化を図る。

基本目標				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	達成状況	実績に対する評価と 今後の方針
戦略				H26(2014) 基準値	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)		
成果指標・KPI													
KPI	特定健康診査の 受診率向上★	%	目標	/	38.0	43.5	49.0	54.5	60.0	60.0	60.0 以上		未受診者の特性に合わせた受診勧奨通知の 発送や啓発を行ったものの、目標の達成には 至らなかった。より効果的な受診勧奨を行うた め、AIを活用し、特に受診率が低い40～50歳 代の働き盛り世代に向けて特定健診受診の必 要性を啓発する。また、40歳前の年代に対し て、40歳からの毎年受診を動機づけるような 啓発を行う。
			実績値	32.5	32.8	35.5	35.9	35.7	33.1	31.2	30.3 (速報値)		
KPI	特定保健指導の 実施率向上★	%	目標	/	33.0	39.8	46.5	53.3	60.0	60.0	60.0 以上		特定健康診査の70%以上を占める個別医療 機関での特定保健指導の実施率が約12%と 低い。特定保健指導を実施している医療機関 が9か所しかないことが原因であるため、特定 保健指導を実施する医療機関数を増やし、実 施率の向上を図る。
			実績値	26.1	26.2	22.4	22.2	22.6	23.2	17.8	23.3 (速報値)		
KPI	歩行者天国の 実施回数	回・ 日	目標	/	—	12	12	12	24	24	24		感染症対策としてこれまで実施していた学校 様通りの開催を控え、中橋緑地北多目的広場 等で開催した。次年度以降は感染症対策も踏 まえた形式や開催場所等について検討し、ま ちの賑わいにつなげる。
			実績値	—	—	6	2	3	2	0	2		
KPI	元気アップ サークル数★	サー クル	目標	/	129	144	160	175	190	205	220		サポーター登録数は微増傾向となった。今後 も地域へ運動の普及活動を行うサポーター養 成講座を継続し、サポーター自身も生きがい を持って活動できるよう支援する。
			実績値	114	122	136	144	155	160	161	159		
4-2 安心・元気な地域づくりの推進													
KPI	市民と行政との 協働事業数★	件	目標	/	119	124	130	143	150	150	150		着実に協働事業数の増加に取り組むことが できている。まちづくりには市民や地域の力 が大きなものとなることから、引き続き全 庁的に協働事業に取り組む。
			実績値	114	111	114	148	152	149	149	153		
KPI	自治会活動顕彰 累計件数★	件	目標	/	4	8	12	16	20	24	28		今後とも、模範的な自治会を顕彰し、自治 会活動及び市民の自主的なまちづくり活 動につなげる。
			実績値	—	4	8	12	16	20	23	27		
KPI	防災リーダーの 育成(累計)★	人	目標	/	1,609	1,697	1,784	1,904	2,000	2,070	2,140		令和元年東日本台風を経験し、地域にお ける防災リーダーの必要性はますます高ま っている。今後、研修内容をこれまでの災 害対応を踏まえた内容に刷新し、リー ダー育成を進める。
			実績値	1,521	1,604	1,731	1,827	1,924	1,961	1,961	1,961		

基本目標		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	達成状況	実績に対する評価と 今後の方針	
戦略	成果指標・KPI	H26(2014) 基準値	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)			
<b>4-3 公共施設の最適化の推進</b>												
KPI	公共施設等総合管理計画及び個別計画等の策定数(累計)	件	目標	/	2	2	2	5	12	12	12	 <p>公共施設等総合管理計画や再編計画等の各種計画で公共施設マネジメントの基本方針や、再編の方向性・時期などを示し、施設の集約化、複合化、長寿命化、廃止などの取組を進めた。引き続き各種計画に基づき、施設総量の適正化・適正配置に取り組む。</p>
			実績値	—	1	1	3	6	12	15	16	

## 地方創生推進交付金活用事業 令和3(2021)年度 実施状況

基本目標 2ひとの 流れをつくる	事業名		申請区分	事業期間	計画額 (うち交付額)	実績額 (うち交付額)	差額 (うち交付額)	事業内容
	重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 H29(2017)	R01(2019) 実績	R02(2020) 実績	R03(2021) 実績	最終目標値 R03(2021)	
	移住・定住に向けた足利ファンづくり事業		単独	R01(2019)－ R03(2021)	18,593千円 (9,296千円)	15,712千円 (7,856千円)	2,881千円 (1,440千円)	目的：JR足利駅に移住・定住相談センターを開設し、そこを拠点として地域おこし協力隊等による各種事業を展開し、関係人口の創出、定住人口の増加を目指す。 ・コロナ禍でのオンラインにも対応した移住相談 ・市内高校生との協働によるシティプロモーション ・観光キャンペーンなどの実施による足利の魅力発信
	相談事業を経た移住者数	人		10	20	30	30	
			実績値	0	32	41	33	
	関係人口数	人		30	60	90	90	
			実績値	0	53	33	106	
	足利市移住・定住相談センターへの相談件数	人		50	100	150	150	
			実績値	0	183	200	209	
	観光客入込数	万人		487.5	500.0	512.5	512.5	
			実績値	475.5	486.2	300.4	346.9	
基本目標 2ひとの 流れをつくる	事業名		申請区分	事業期間	計画額 (うち交付額)	実績額 (うち交付額)	差額 (うち交付額)	事業内容
	重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値 R02(2021)	R03(2021) 実績	R04(2022) 実績	R05(2023) 実績	最終目標値 R05(2023)	
	里山環境を活かした持続可能なまちづくり事業		単独	R03(2021)－ R05(2023)	9,966千円 (4,983千円)	8,703千円 (4,351千円)	1,263千円 (632千円)	目的：地域資源を活かした体験型観光事業を通じて、地域の担い手を育成するとともに、移住者を呼び込む仕組みを構築し、持続可能な地区を目指す。 ・農業体験の実施 ・SNS等を活用した里山の魅力発信 ・名草地区の農産物を活用した新名物の開発 ・空き家の活用方法の検討
	足利・名草ふるさと自然塾運営協議会の新規参画者数	人		3	6	10	10	
			実績値	0	3	—	—	
	事業年間利用者数（体験プログラム、名草キャンプ場等利用者数等）	人		500	750	1,000	1,000	
			実績値	0	378	—	—	
	新名物年間販売額	千円		—	500	1,000	1,000	
			実績値	0	656	—	—	
	名草地区への年間転入者数	人		17	20	24	24	
			実績値	14	19.0	—	—	